

本移転に向けた機能の検討スケジュール（30.4月）

2018/4/23

年度 (月)	28									29									30																
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
検討項目																																			
前 半	① 労働者・事業者にとって使い勝手の良い求人求職システム																																		
	② 日雇労働の研修、職業訓練																																		
	③ 労働関係問題																																		
	④ 多様な相談機能の充実																																		
■ 前半のとりまとめ																																			
後 半	⑤ 多様な求職者（若者、女性）ニーズへの対応																																		
	⑥ センター機能の対外的なPR																																		
	⑦ センター50年の歴史を活かす取組み																																		
	⑧ 地域の顔としての機能																																		
■ 機能検討の取りまとめ																																			
■ 規模検討の取りまとめ																																			
★基本計画																																			

平成30年7月

労働施設検討会議の開催概要について  
(平成29年4月以降開催分)

〔第18回〕平成29年4月27日

・本移転施設の機能について

「多様な相談機能の充実」の検討

- ⇒ 今回は、「多様な相談機能の充実」に関し、多数のご意見をいただいた。
- ⇒ まとめるのは難しいところが多いが、さらに議論を深めたい。
- ⇒ 本日の意見を踏まえ、有識者としても検討し、センターとしても検討のうえ、より良いものとなるようしたい。
- ⇒ 第11回の労働施設検討会議で提案した「本移転に向けた項目の検討スケジュール（案）」について、これまでの議事の経過を踏まえ見直しをし、議論を早めていく方向で検討したい。

〔第19回〕平成29年5月26日

・本移転施設の機能について

「多様な相談機能の充実」の検討

- ⇒ 今回は、「多様な相談機能の充実」に関し、国の資料も追加し、さらにご意見をいただいた。本日のご意見を踏まえ、現時点でのご意見として、今回で一定とりまとめたい。
- ⇒ センターのあり方のみならず、「まちのランドデザイン」の議論も視野に入れつつ、取組み方策の検討が必要。
- ⇒ センター単独で対応が困難なものなどについても、引き続き、具体化に向けた検討をされたい。
- ⇒ 次回から、新たなテーマとして、「多様な求職者（若者、女性）ニーズへの対応」について議論したいので、現状の取組みなどを報告されたい。

〔第20回〕平成29年6月23日

・本移転施設の機能について

「多様な求職者（若者、女性）ニーズへの対応」の検討

- ⇒ 次回も「多様な求職者（若者、女性）ニーズへの対応」について議論したい。
- ⇒ 労働局、大阪府の就職困難者向け支援施策のさらなる深掘り
- ⇒ 民間ベースでの面白い取組みの学習
- ⇒ 行政での就職困難者の就労支援の学習

〔第21回〕平成29年8月22日

・本移転施設の機能について

次回も「多様な求職者（若者、女性）ニーズへの対応」を検討

- ⇒ 今回は「多様な求職者（若者、女性）ニーズへの対応」を検討するに当たり、外部の講師を招き、「求職者ニーズに対応した就業支援のあり方」など先進事例を学んだ。
- ⇒ 本移転施設の機能の検討は、このような学習機会を得ながら、刺激ある議論が必要。
- ⇒ 本移転施設の検討スケジュールの見直しを検討されたい。

〔第22回〕平成29年9月19日

・本移転施設の機能について

「多様な求職者（若者、女性）ニーズへの対応」

- ⇒ 次回も「多様な求職者（若者、女性）ニーズへの対応」を検討。
- ⇒ 「多様な求職者（若者、女性）ニーズへの対応」を検討に当たり、特に「女性の就労支援」について注目し、今回も外部講師を招いて先進事例などを学んだ。
- ⇒ 必要であれば外部講師を招いた学習機会などを設定する。
- ⇒ 2回にわたり外部講師を招いて学習したことなどを踏まえ、今回は地域の実情に即した就労のあり方などについて議論したい。

〔第23回〕平成29年10月24日

・本移転施設の機能について

「多様な求職者（若者、女性）ニーズへの対応」

- ⇒ 多様な求職者ニーズへの対応を議論する中で、まち全体のあり方も含めた議論となったが、それらも踏まえながら次回もしっかりと議論を進めて行く。

- ・労働問題に特化した議論について
  - ⇒ あいりん地域まちづくり会議委員からの要請も含め、労働問題に特化した議論も進めたい。
- ・仮移転施設の整備状況について
  - ⇒ 西成労働福祉センター及びあいりん労働職業安定所の仮移転施設について、設計の進捗状況を説明。
  - ⇒ 次回は、仮移転施設の議論を優先的に行う。それぞれの仮移転先施設の内容について、持ち帰りのうえチェックいただき、改めて、ご意見をお聞きしたい。

〔第24回〕平成29年11月21日

- ・仮移転施設の整備について
  - 「西成労働福祉センター及びあいりん労働職業安定所の仮移転施設について」
    - ⇒ 交流スペースやトイレ、売店など現状機能について、仮移転施設でどこまで確保できるかを整理する。
    - ⇒ 労働施設だけでは解決できない居場所の問題については、福祉などの関係部局に意見を伺うとともに、あいりん地域まちづくり会議の議題としても報告する。
- ・本移転施設の機能について
  - 「多様な求職者（若者、女性）ニーズへの対応」
    - ⇒ 多様な求職者ニーズへの対応の議論については、次の3つのポイントを考慮
      - ・ あいりん地域内における行政機関や社会資源の役割分担と連携
      - ・ 地域外の多様な社会資源との協力・連携
      - ・ 質が高くかつ持続可能な就労支援体制の構築
    - ⇒ 多様な求職者ニーズへの対応の議論については、いったん終了する。
- ・労働関連問題について
  - ⇒ 次回は労働問題に特化した議論を実施する。

〔第25回〕平成29年12月18日

- ・仮移転施設の整備について
  - 「西成労働福祉センター及びあいりん労働職業安定所の仮移転施設について」
    - ⇒ センター利用者への対応に関し、市福祉関係部局への議事報告及び会議

出席を要請する。

- ⇒ 南海電鉄高架構造物に係る安全確認について、再度確認する。
- ⇒ 玉出年金事務所のセンター窓口業務に関し、要請内容を報告する。

・労働関連問題について

「事務局職員等に対する要請文について」

- ⇒ 仮移転先等の工事現場における建設労働者の労務単価について、再度確認する。

・本移転施設の機能について

「センター事業のPRについて」

- ⇒ 「わかりやすく、スピーディーなPRに向けて」
  - ・センターのホームページのリニューアル
  - ・新着情報のスピーディーな更新
  - ・リアルタイムな求人情報の掲載

〔第26回〕平成30年1月22日

・仮移転施設の整備について

「西成労働福祉センター及びあいりん労働職業安定所の仮移転施設について」

- ⇒ 仮移転施設における現施設の機能維持に向け、役割分担も含めて検討する。

・本移転施設の機能について

「センター機能の対外的なPR」

- ⇒ 職業紹介、技能講習等々を実施するセンターについて、本移転に向けた広報・PRの議論を進める。

「センター50年の歴史を今後活かす取組み」

- ⇒ 地域が持つポジティブな面を発信し、活性化の一つの材料として考える。
- ⇒ あいりん地域やセンターの歴史を学び、未来のまちのあり様、センターのあり様について、さらに議論を深める。

〔第27回〕平成30年2月15日

・本移転施設の機能について

「西成労働福祉センターや地域全体の過去の振り返り」

- ⇒ 残り3つの検討テーマの具体的な議論については、少し時間を掛けて行う。

- ⇒ センターの新しい機能のあり方、さらに地域全体の今後のあり方を考えて行く。
- ・仮移転施設の整備について
  - 「西成労働福祉センター及びあいりん労働職業安定所の仮移転施設について」
  - ⇒ ガードマンボックス等の検討結果について、次回行政から報告する。
- ・次年度の議論・検討について
  - 「次年度は建物規模の検討に入っていく」
  - ⇒ 機能議論の取りまとめを行った上で、規模の議論をしっかりとやって行くので、ご協力いただきたい。

〔第28回〕平成30年3月19日

- ・本移転施設の機能について
  - 「本移転に向けた機能検討の整理一覧について」
  - ⇒ 仮移転先での実践的な取組みについて、本移転施設ではさらにバージョンアップして実施する。
  - ⇒ 多様な相談機能の充実については、自彊館や大阪市などと連携し考えて行く。
  - ⇒ 多様な求職者のニーズに合った形での職業訓練や就労体験の場作りが必要。
  - ⇒ これまでの議論を踏まえて整理するとともに、さらに必要な議論を進めて行く。
- ・仮移転施設の整備について≫
  - 「仮移転施設におけるガードマンボックスの確保について」
  - ⇒ 設計段階では、ガード下という限られたスペースの中での確保は困難。
  - ⇒ ガードマンに係る事業予算を検討する中で、スペースの確保を調整する。
- ・今後の議論・検討について≫
  - ⇒ 労働施設検討会議ご意見等記載用紙によりご意見をいただき、機能議論の取りまとめに繋げて行く。
  - ⇒ 機能議論の取りまとめの後、規模の検討に入っていく。

〔第29回〕平成30年4月23日

- ・本移転施設の機能について
  - 「ご意見等記載用紙による提案内容等について」

- ⇒ 釜ヶ崎に集まるいろんな人たちが仕事に就けるよう支援、仕組みが必要。
- ⇒ 建設労働など仕事の大事さを子どもたちに繋げるよう体験できる場所を作るのも一つのやり方、その他先進的な取組事例などを発見し、それら両方を繋いで行くことが我々に求められている課題
- ⇒ センター50年の歴史を今後活かす取組み、地域の顔としての機能、センター機能の対外的なPRに関する意見のほか、労働に限らない意見も含め、6月頃に具体化する形で取りまとめる。
- ・ 仮移転施設の整備について
  - 「西成労働福祉センター及びあいりん労働職業安定所の仮移転施設について」
  - ⇒ 仮移転施設のレイアウト案が整い、現在、着工を目指して契約手続き中。

〔第30回〕平成30年5月28日

- ・ 本移転施設の機能検討のまとめについて
  - 「機能検討の取りまとめについて」
  - ⇒ 取りまとめに当たっては、この間の議論の経過を踏まえ、事業の具体化に向け、「ご意見、ご要望」を整理する。
  - ⇒ 労働以外の課題を議論する場合は、関係担当部署の参画を得た会議の設えを整理する。
  - ⇒ 機能検討に係る議論・意見のうち、福祉的な課題に属するテーマについては、エリアマネジメント協議会の環境福祉専門部会において議論する。
- ・ 機能検討の取りまとめ後のスケジュール等について
  - ⇒ 6月に一定ハードに関わる検討を終えるが、ハードに関係しないソフト部分については、引き続きご意見を伺う。
  - ⇒ 規模・配置の検討の前提となる既存施設の撤去等の状況については、事務局が確認の上、次回会議において報告を行う。

# 労働施設の本移転に向けた機能検討の整理一覧 (案) 2018/6/25

## 仮移転

実践的にトライアル

## 本移転

新たなマッチング  
システムの事業検証

- ✓ モニター等による求人情報の見える化充実
- ✓ 就労支援システム導入によるマッチング機能の強化  
⇒「西成労働福祉センター I T 化推進事業」(センター)
- ✓ 中間的就労を活用した安定就労への支援  
⇒「あいりん地域不安定労働者就労支援事業」(府)
- ✓ 施設内や地域の協力による技能講習事業の見える化充実
- H30年度検討予定
- ✓ 地域間連携による福祉への誘導
- ✓ 1階正面に事業案内を掲示
- ✓ 技能講習事業(55科目570人:国⇒センター受託)  
建設業スキルアップ、介護、刈払・チェーンソー、運輸など清掃体験に加え  
ベッドメイキング講習(実習は簡宿の協力により地域内で実施)
- 建物
- ✓ 騒音・振動対策/職場環境への配慮/駐車(乗込)機能(31台)
- ✓ 特掃ガードマンBOX→H31年度予算事業運用で検討

検討できたテーマ・実施決定事業

相談業務の  
見える化

潜在的就労者対応

社会情勢に応じた  
可変(柔軟)性担保  
(時間・空間の有効活用)

(シェア型まちづくりへ)  
まちとの繋がり  
地域資源活用

既存センターの  
シンボル部分の保全

未調整の  
テーマ

- 寄り場・居場所機能
- 現課題の段階的解決
- 既存システム活用
- 売店等生活機能
- 国事業の今後:日雇対応・不安定就労対策
- 安倍野HW(ルシアス)移転検討
- 路上求人对策の具体化
- センター以外(周辺)も含めた検討
- 跡地活用イメージづくり(横串の場合)
- 広域施策等との連携・活用
- 工事中の旧センター利用の検討

国・府  
市(区)  
の  
役割  
分担

(労働者・事業者にとって)  
使い勝手の良い求人・求職  
システム

多様な相談機能の充実

多様な求職者ニーズに対応

機能⇒具体化検討へ

センター機能のPR

地域の顔としての機能

50年の歴史を活かす取組

空間・ボリューム  
現労働センター跡地+周辺

労働調査+まちの将来ビジョン策定調査の実施

本設移転後の施設の利活用  
検討 (持続可能な仕組みづくり)

- 柔軟なデザイン 仮のイメージ向上・まちのイメージ創出
- 運営検討+トライアル

災害対応施設  
備蓄・水等

若手チャレンジショップ  
労働者も主体に

子ども系  
スタジオ sports他

- ・運営費の確保
- ・運営主体形成と持続性
- ・本体との関係も重要
- ・先進事例の研究



平成30年6月吉日

ご近隣の皆様へ

委託者 大阪府  
受託者 南海電気鉄道株式会社  
施工者 南海辰村建設株式会社

西成労働福祉センター仮移転施設建設工事について（ご挨拶）

記

拝啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は弊社業務に格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、この度大阪市西成区萩之茶屋1丁目3-18他におきまして西成労働福祉センター仮移転先の建設工事を計画しております。  
工事中は何かとご迷惑をお掛けすると思っておりますが、細心の注意を払い施工いたしますので、何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

[工事概要]

工事内容  
工事期間

事務所鉄骨造2階建て  
平成30年7月上旬から平成31年3月29日（予定）

休日は、日曜日とし、祝祭日は重機作業を伴わない騒音発生が少ない作業のみとします。但し、安全対策に必要な緊急を要する作業（台風等の自然災害回避等）においては、この限りではないものとします。

作業時間

8:30~17:30  
作業時間は、8:30から17:30まで（作業開始前の朝礼・準備作業及び作業終了後の片付・清掃作業時間は除く）とします。  
騒音・振動等の少ない軽作業（内装工事・塗装工事等の室内作業他）については、上記作業以外でも作業を行わせていただきます。

[連絡窓口]

南海辰村建設株式会社  
建築本部 工事部 工事課  
北原 一義  
06-6644-7810

営業第一部 福岡 康宏  
06-6644-7834

工事工程表

工種	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
仮設工事	■	■	■	■	■	■	■	■	■
杭工事	■	■							
基礎工事		■	■	■					
土工事		■	■	■	■				
鉄骨工事			■	■	■				
内装工事				■	■	■	■	■	■
外装工事				■	■	■	■	■	■
外構工事							■	■	■
設備工事		■	■	■	■	■	■	■	■
駐車場工事								■	■

工事車両進入経路

